

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 919 号	氏名	野崎 彩
学位審査委員	主 査 青柳 潔 副 査 前村 浩二 副 査 高村 昇		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、中枢性尿崩症症状に特化した QOL 評価質問票 (Nagasaki Diabetes Insipidus Questionnaire: NADIQ) を新たに作成し、治療薬の剤型別に、その実用性を評価したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 新規発症未治療群、点鼻製剤治療群、経口製剤治療群、健常対象者群で上記質問票を適用し、適切な統計学的解析法で比較検討したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、NADIQ は中枢性尿崩症症例の QOL を的確に評価できることを示した。さらにこの結果に基づき、治療内容の問題点の抽出、改善方法の検討に有用であることを明らかにし、今後の尿崩症研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は尿崩症研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			